

各市町村カードデザイン一覧（ウラ）

北見市	網走市	紋別市
オホーツクキャラクターカード カントリーサイン  北見市 Kitami City きたみ 北見市 【人口】 110,826人(2024.5末現在) 【面積】 1,427.41㎢ 【市名の由来】 探検家松浦武一郎が北海岸の「北」とカラフト島が快晴の日に見えることから「北見国」と進言したことによる 【市章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	オホーツクキャラクターカード カントリーサイン  網走市 Abashiri City あばしり 網走市 【人口】 32,407人(2024.5末現在) 【面積】 471㎢ 【市名の由来】 ※諸説あります。 アイヌ語で「入り口の地」を意味する「アバシリ」に漢字をあてたものに由来 【市章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	オホーツクキャラクターカード カントリーサイン  紋別市 Monbetsu City もんべつ 紋別市 【人口】 20,077人(2024.5末現在) 【面積】 830.67㎢ 【市名の由来】 アイヌ語の「モベツ（静かな川の意味）」に由来 【市章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学
美幌町	津別町	斜里町
オホーツクキャラクターカード カントリーサイン  美幌町 Bihoro Town びほろ 美幌町 【人口】 17,561人(2024.5末現在) 【面積】 438.41㎢ 【町名の由来】 多くの清流が合流して水量が豊富な所をアイヌ語で「ビ・ポロ＝水多く・大なる所」というところによる 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	オホーツクキャラクターカード カントリーサイン  津別町 Tsubetsu Town つべつ 津別町 【人口】 4,025人(2024.5末現在) 【面積】 716.8㎢ 【町名の由来】 アイヌ語の「ツベツ（山の出ばなを通って流れる川）」が通説 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	オホーツクキャラクターカード カントリーサイン  斜里町 Shari Town しゃり 斜里町 【人口】 10,608人(2024.5末現在) 【面積】 737.01㎢ 【町名の由来】 アイヌ語のサルまたはハヤシより転訛したもので「アシの生えているところ」に由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学
清里町	小清水町	訓子府町
オホーツクキャラクターカード カントリーサイン  清里町 Kiyosato Town きよさと 清里町 【人口】 3,656人(2024.5末現在) 【面積】 402.76㎢ 【町名の由来】 清らかな里という意味と、小清水の「清」と斜里の「里」を兼ね、2町から分村した歴史を持つことに由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	オホーツクキャラクターカード カントリーサイン  小清水町 Koshimizu Town こしみず 小清水町 【人口】 4,385人(2024.5末現在) 【面積】 286.89 ㎢ 【町名の由来】 現在の元町に遡んだ冷たく美味しい湧き水があり、この小さな清水の名から駅通の名を「小清水」と定めたことに由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	オホーツクキャラクターカード カントリーサイン  訓子府町 Kunneppu Town くんねつぷ 訓子府町 【人口】 4,447人(2024.5末現在) 【面積】 190.95 ㎢ 【町名の由来】 アイヌ語で「黒いところ、やち川にして水黒し」を意味する「クンネプ」から由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学

置戸町  置戸町 Oketo Town おけと 【人口】 2,558人(2024.5末現在) 【面積】 527.27km² 【町名の由来】 アイヌ語で「オケトウンナイ」、 鹿の皮を干すところという意味で、 鹿の狩猟場としていたことに由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	佐呂間町  佐呂間町 Saroma Town さるま 【人口】 4,664人(2024.5末現在) 【面積】 404.94km² 【町名の由来】 アイヌ語の「サロ・オマ・ベツ(葦の あるところ)」からサロマとなり、 大正4年に佐呂間と和文転用 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	遠軽町  遠軽町 Engaru Town えんがる 【人口】 17,855人(2024.5末現在) 【面積】 1,332.45km² 【町名の由来】 町のシンボル巖望岩(がんぼういわ)を、 アイヌ語で「インカルシ(見晴らしのよい ところ)」と呼ぶことに由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学
湧別町  湧別町 Yubetsu Town ゆうべつ 【人口】 7,926人(2024.5末現在) 【面積】 505.79km² 【町名の由来】 ※諸説あります。 その昔チョウザメが生息し、アイヌ語で 「鮫(サメの意味でユベと発音)の住む 川(ベツと発音)」の意味に由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	滝上町  滝上町 Takinoue Town たきのうえ 【人口】 2,238人(2024.5末現在) 【面積】 766.89km² 【町名の由来】 渚滑川には多くの滝があり、 その上流部に位置していたため 「滝上」地区と呼ばれたことに由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	興部町  興部町 Okoppe Town おこっぺ 【人口】 3,540人(2024.5末現在) 【面積】 362.55km² 【町名の由来】 「川尻の合流しているところ」の 意味のアイヌ語「オウコッペ」より 転訛したことに由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学
西興部村  西興部村 Nishiokoppe Village にしおこっぺ 【人口】 955人(2024.5末現在) 【面積】 308.08km² 【村名の由来】 興部はアイヌ語の「オウコッペ」より転訛し、 「川尻が合流したところ」の意味で、 位置が興部町の西であることに由来 【村章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	雄武町  雄武町 Omu Town おうむ 【人口】 4,131人(2024.5末現在) 【面積】 636.88km² 【町名の由来】 アイヌ語の「オムイ」 (河口が塞がる)に由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学	大空町  大空町 Ozora Town おおぞら 【人口】 6,519人(2024.5末現在) 【面積】 343.66km² 【町名の由来】 澄み切った大空、そしてその大空の下に広 がる奥行き豊かな大地のもとで、住民が夢や 希望を持ち、晴れ晴れとした気持ちで暮ら していくことをめざすことに由来 【町章】 ©オールオホーツク魅力発信委員会・小樽商科大学